キャラクター名
紫鴛鴦　流歌

プレイヤー名

シンドローム	ブラム＝ストーカー ブラム＝ストーカー	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	喫茶店の店長
オプショナル		年齢	28歳	性別	女性
覚醒	償い	衝動	殺戮	初期侵食率	36 %
出自	安定した家庭	経験	禁断の愛	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	0			3
感覚	4	0	0			4
精神	2	0	0			2
社会	0	0	1			1

HP	28
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	9		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	6	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
マサカーズエッジ	白兵	3r+7	2	14		《血の宴》を組みわせた攻撃の攻撃力に+6
連なる翼なき風切り羽	白兵	9r+7		20		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
コネ:UGN幹部	
コネ:噂好きの友人	
コネ:情報屋	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
申し子	P	N		
霧谷　雄吾	P　尊敬	N　食傷		
霧夜の殺人鬼	P　執着	N　嫌悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　14	残り財産P：　10

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ランナウト	1	6	AUTO	至近	自身	自動	D	
効果：エフェクトを使用する直前に使用。そのエフェクトをLV+2する。LVの上限を越えてもよい。ただし、この効果でエフェクトの使用回数は増加しない。エフェクトを組み合わせている場合、ひとつ選択してLVを上げること。1シナリオにLV回								
滅びの遺伝子	5	6	AUTO	視界	単体	自動	P	
効果：対象から1点でもダメージを受けた時に使用。対象に[LV*10]点のHPダメージを与える。1シナリオに1回								
コンセントレイト	3	2	MJ	-	-	SYNDR	-	
効果：C値-LV(下限7)								
鮮血の一撃	5	2	MJ	武器	-	白兵	-	
効果：組み合わせた白兵攻撃の判定ダイス+[LV+1]個する。HPを2点消費								
血の宴	3	3	MJ	-	範囲(選択)	SYNDR	-	
効果：組み合わせた攻撃の対象を範囲(選択)に変更する。1シナリオにLV回								
かぐわしき鮮血	1	-	MJ	至近	自身	自動	-	
効果：血の宿る香りをかぎ分けることで、特定の個人や集団を探し出せる								
日常の代行者	1	-	常時	効果参照	効果参照	自動	-	
効果：自分の代わりに日常の代行をする専用の従者がいる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

N市に支部を構えるUGN支部長。表の顔として喫茶『風切り羽』のマスターをしている。朝と昼は喫茶店、夜はバーと多忙な日々を過ごしているが、従者を使って上手くお店を回しつつUGN支部長としての仕事も手を抜かずにバリバリに働いている。
ワーカーホリックなところがあり、放っておいたら休みなしに働き続ける。
非常に責任感の強い性格で支部に所属するエージェントのことを大切に思っており、チルドレン相手には上司というよりは姉や母のように接することが多い。
バーのマスターもやっていることからお酒には滅法強く、よくお客さんと飲み比べては酔い潰してしまうことがある。

そんな彼女だが、過去に"霧夜の殺人鬼"榊原蓮夜と交際をしていた時期がある。
殺人鬼としての本性を隠した少年期の彼と同棲をしており、流歌は彼を愛していたが蓮夜は生来の性分から流歌に愛情など感じたことは一度もなく、本性を隠して他人と接する仮面を取り繕う練習相手でしかなかった。
ある日、蓮夜に用済みと殺されかけたことでオーヴァードとして目覚め、それから止むことのない殺戮の衝動に精神を犯されることになる。
これであの子と同じになれた……と心の何処かで安堵しながらも、今は蓮夜を止める為に奔走している。
それは未だに彼への想いを引きずる為なのか、彼への想いを断ち切る為なのかは本人にもよくわかっていない。